

様式3 実践事例

大崎町立大崎中学校 第1学年

【授業実践のポイント】

- ① 内容項目に迫るための中心発問の工夫
- ② 議論を広げたり，深めたりするための補助発問の工夫
- ③ 生徒が思考を深めるための活動の工夫

1 主題名

よりよい社会のために [C 社会参画，公共の精神]

(1) 教材名

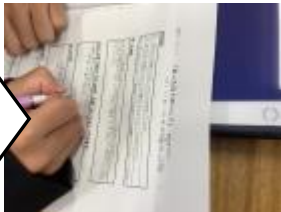
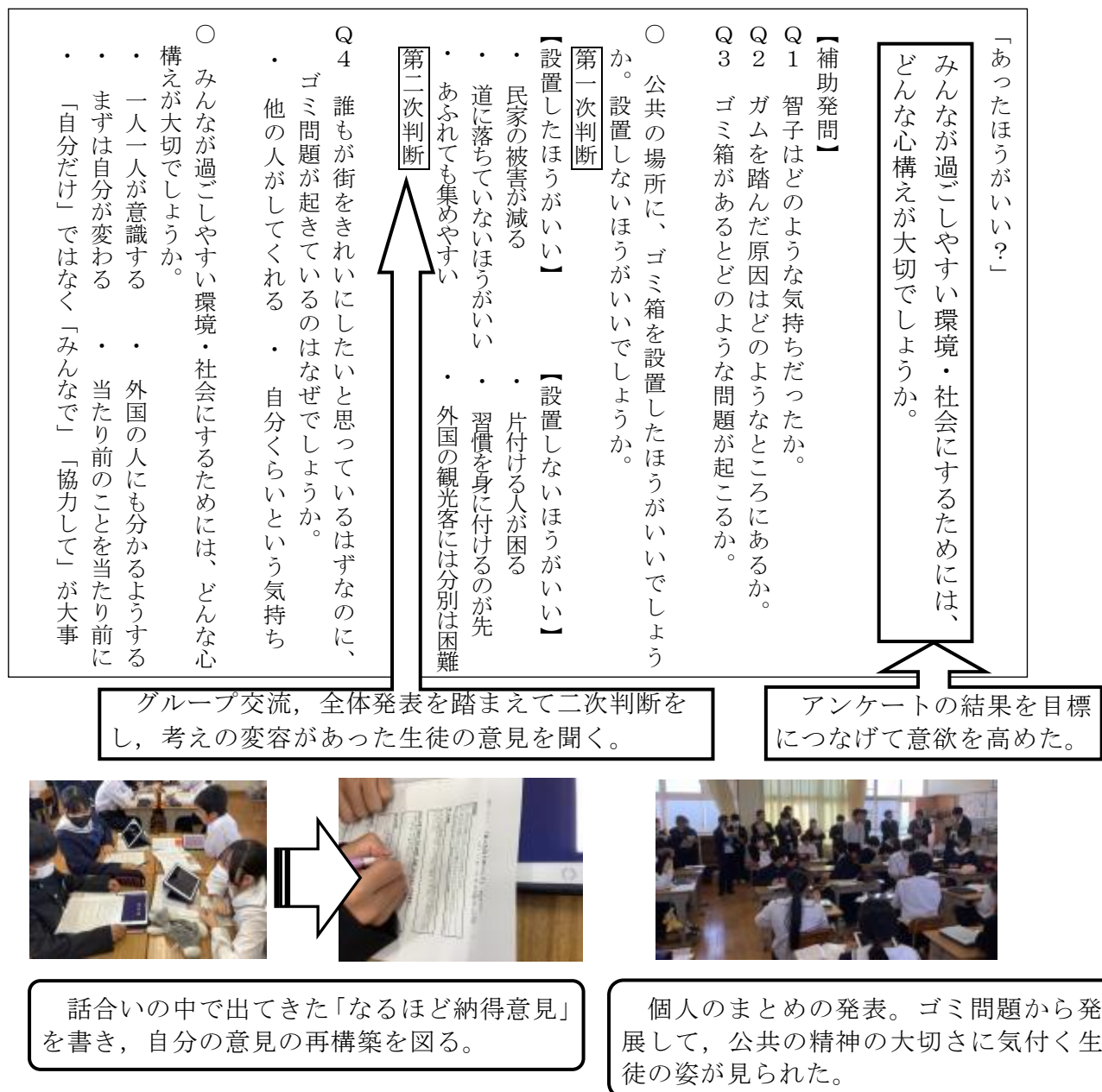
あったほうがいい？（出典 日本文教出版「中学道徳 あすを生きる1」）

(2) 本時のねらい

一人一人が社会の一員として，人任せにせず社会全体の利益を考えることで，過ごしやすい社会になることに気付き，よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。

2 授業の展開

展開	学 習 活 動	主な発問と予想される生徒の反応	形態 時間(分)	指導上の留意点
導入	1 アンケートの結果を確認し，本時の課題を知る。	○ 学校生活の場で，皆さんがお互いに困っていることはどのようなことでしょうか。	一斉 2	● アンケートをもとにして学級の実態を見つめ，本時の学習に興味・関心・意欲をもたせる。
	2 学習のめあてを確認する。 皆が過ごしやすい環境・社会にするためには，どんな心構えが大切だろうか。		個 2	
展開	3 資料の内容を理解する。	○ 補助発問で考えたことを基にして，一次判断をしましょう。	一斉 3	● 教師が資料「あったほうがいい？」を読む。 ● 主発問に入る前に補助発問で内容を確認させ，意見の偏りが出ないようにバランスを取る。 ● 判断や根拠の理由が変わった生徒の意見を発表させる。 ● まとめに入る前に，生徒の視野を広げ，考えを深めさせる。
	4 一次判断をする。	○ 一次判断をしましょう。	個 5	
	5 グループで出た意見を全体で共有する。	○ 中心発問について，グループで交流してみましょう。	グループ 20	
展開	6 二次判断をする。	○ グループ発表を踏まえて二次判断をしましょう。	個 5	
	7 ごみ問題が起こる理由について考える。	○ みんなが過ごしやすい環境・社会にするには，どのようなことが大切でしょうか。		
終末	8 まとめを記入し，発表する。	○ 今日の授業のリフレクションを記入してください。	一斉 8	● オープンエンドで終わらせる。 ● ロイロノートで回答させる。
	9 リフレクションシートを記入する。		5	



話合いの中で出てきた「なるほど納得意見」を書き、自分の意見の再構築を図る。

個人のまとめの発表。ゴミ問題から発展して、公共の精神の大切さに気付く生徒の姿が見られた。

3 実践を終えて

(1) 成果

- ア グループ交流や全体発表を通して多様な意見を聞くことが、生徒の多面的、多角的な思考につながり、自分の意見を根拠をもって深めることができた。
- イ 生徒の第一次判断，第二次判断や資料を提示する際に I C T 機器を活用することで、生徒が活動の流れや内容を十分に理解した上で、話合いに臨むことができた。

(2) 課題

- ア 生徒がゴミに関する深刻な社会的問題についてより深く理解し、これからの自分の生き方や考え方を見つめられるようにするために、大崎町のゴミリサイクルの取組と関連付けるとともに、他の教科等や学校行事とも連携させながら、今後も考え続けさせていきたい。
- イ グループによって話合いの活発さに差が見られたため、どのグループでも活発な話合いとなるように、発問や手立ての工夫をしていきたい。